



キャンプファイヤー



収穫



クッキング



染物



登山

親子で秋キャンプ 活動報告書

10月29日(土) 1日目

前日までの雨は止み、まさにキャンプ日和という中で、「親子で秋キャンプ」を開催しました。まずは軽く体を動かして、はじめて会う家族同士の緊張をほぐしていきます。緊張がほぐれたら、昼食タイム。お外で食べていても気持ちの良い陽気でした。



昼食が終わり、秋を感じる選択プログラムに移っていきます。収穫体験はサツマイモ掘りを行いました。収穫前には、サツマイモの茎で作ったきんぴらを試食し、「美味しい!」「初めて食べた!」という声が上がりました。親子でどろんこになりながらも掘りをして、気付いたらカゴの中はサツマイモの山になっていました。



染物体験はどんぐり染めを行いました。村内を親子で探検してたくさんのどんぐりを拾います。染物用に煮出している間に、どんぐりを炒って食べてみる体験もしました。一口食べてみると、「意外とおいしい」と手が止まらなくなる人もいました。また、自分で一生懸命染めたバンダナは大切な宝物になることでしょう。



登山では、山を歩きながら秋を感じます。子どもたちは色々な種類のきのこを発見したり、落ち葉を集めたりとそれぞれの秋を満喫しました。開けたところでは、空気が澄んでいて遠くの建物まで見えて、「スカイツリーだ!」と感動の声も上がります。向かいの山に「ヤッホー!」と叫び、やまびこを楽しむこともできました。



選択プログラムを頑張ったこともあってか、みんなお腹がペコペコです。数あるメニューの中から自分が食べる料理を選ぶ目は、大人も子どもも真剣そのもの。おかわりをしている姿も見られました。食後はキャンプファイヤーです。みんなで炎を囲んで、歌ったり踊ったりと普段では味わえない体験ができたのではないのでしょうか。「ねえねえ、キャンプファイヤー楽しかったよ！」とスタッフに教えてくれる子もいました。



10月30日(日) 2日目

朝の集いでは、体調チェックを行います。両手が上を向くと元気な証拠。皆さん元気もやる気もMAXです。朝ごはんもたくさん食べ、アウトドアクッキングに向けてエネルギーを蓄えます。



ご飯のあとは、荷物整理とお掃除です。お部屋はもちろん、トイレやミーティングルームなど、使った場所をお掃除してくれました。普段は掃除をしない子どもがほうきを離さないくらい、お掃除に協力してくれました。おかげでロッジの中も外もピカピカです。キャンプには人を動かす力があると感じました。



掃除のあとは、待ちに待ったアウトドアクッキングです。子どもたちは見たことがない真っ黒な鍋(ダッチオーブン)に興味津々です。フタを持ちあげると、「重たい！」と興味はますます強くなっていきました。全体の説明の後は食材係と火の係に分かれて、それぞれ真剣に話を聞きました。



メニューは新米ごはんときのことたっぷりスープ、鳥肉と野菜の炒め蒸しです。新米やきのこなど旬の食材がたっぷりです。班の中では初めてお米を研ぐ子に研ぎ方を教えてあげる親子の姿や、他の家族の子どもに火の付け方を教えるお父さんもいます。子どもたちは班の枠を飛び越えて協力して食器を運ぶも印象的でした。こういった家族の枠を超えて交流が生まれることが親子キャンプの醍醐味なのではないのでしょうか。



出来上がった料理を食べ、「おいしーい！」という声が聞こえました。旬の食材のうま味を味わえたようです。お腹一杯になったら、ごちそうさまをしてお片付けです。ダッチオーブンのメンテナンスをする人や洗いや、テーブルを拭く人など、役割分担をしてテキパキと片づけを行っていました。早く片づけが終わった子どもたちはスタッフとだるまさんが転んだをして最後までキャンプを楽しみました。

この2日間で『秋だからこそ・秋ならではの』を沢山感じていただけたのではないのでしょうか。選択プログラムやクッキング、または自由時間など、感じられるものや感じ方は人それぞれだと思います。

秋はもうすぐ終わってしまいますが、お家へ帰ってからもそれぞれの場所で、今感じられる秋を探して、そして楽しんでほしいと思います。

(文責：石川)